

自分の強みと弱みを把握して、 人生の上手な舵とりを

小林牧子 熊本大学大学院自然科学研究科准教授

工学系 (情報電気電子工学)

導かれるように開かれる道もある

実は、研究者の道へ進んだのは、ほぼ成り行きでした。大学院には進学せずに就職しようと考えていたのですが、健康診断で引っかかってしまったのと、推薦で院に進めるということもあり、とりあえず修士課程へ。その後は留学経験のある恩師の勧めで海外の大学へ行くことになり、23歳でカナダに渡りました。「この道を進むんだ」という確固たる意思も大事ですが、私のように、導かれるように偶然開かれた道を進むことも「あり」だと思います。なるようになるものなんです(笑)。その後は、カナダ国立研究所に所属。最初はプロジェクトメンバーの一員として、そのうち中核メンバーとして、最終的にはプロジェクトリーダーとして忙しくも充実した日々を送っていました。

しかし次第に、教育と長期的ビジョンに基づく研究への思いが募り、大学教員の道を目指すことになりました。

私は『圧電体』という、圧力を電気に変換する物質について研究しています。応用としては、超音波センサや環境発電などがあります。特に私は、

2種類以上の材料を組み合わせることで作製する、複合材料を開発することによって、既存の物質を超える材料を安価で提供する方法を考えています。

仮説に従って実験計画を“詰め将棋”のように立てている時が一番ワクワクします。実験結果によって仮説が実証されると、非常に嬉しいですね。また、学生の成長を感じたり、プロジェクトが成功した時も、このうえない達成感を味わっています。

結婚によりオンとオフが はっきりした新鮮な毎日

これまでは好きなだけ仕事と研究に時間を割いてきましたが、最近結婚をしたので、私生活の時間も大切にできるようになりました。限られた労働時間内にできる限り集中することを心がけています。独身の時よりもオンとオフがはっきりしているこの新しい暮らしは、結構気に入っています。

女子学生へのメッセージとしては「自分の強みと弱みを早めに把握しよう」ということ。強みを活かして、一度きりの人生を多に楽しみましょう!



小林研究室立ち上げ記念の懇親会にて



趣味の一つハイキングのついでにカナディアンロッカーを観光



Makiko KOBAYASHI

工学部
修士課程
博士課程
研究所(研究員)
大学教員

One day

5:30 起床
(メールチェック、一日のスケジュール確認)

7:00 朝食

8:30 就業
研究指導、論文、講義準備など

20:00 終業
夫と夕食を一緒に

23:30 就寝(希望)

海外生活は
とてもプラスに
なりました

◎座右の銘

Where there is a will,
there is a way.
為せば成る為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり

profile

こばやしきまこ / 千葉大学工学部卒業、同大学院修士課程、McGill大学大学院博士課程修了。2004年よりカナダ国立研究所客員研究員、後に任期付研究員となり、プロジェクトリーダーとして忙しくも充実した日々を送る。しかし教育と長期的ビジョンに基づく研究への思いが募り、大学教員の道を目指し、2012年2月より現職。Ph.Dをカナダで取得。IEEE学会のシニアメンバー。

アンケート
より

Q.「女性」教授についてのご意見

- 割合は問題ではない ●欧米に比べてももっと多くていいのでは
- 教授として実力のある女性研究者が増えることが大切